

1 調査の概要

1 調査の概要

1.1 調査の目的

平成 15 年 7 月に発表された『日本の繊維産業が進むべき方向ととるべき政策 - 内在する弱点の克服と強い基幹産業への復権を目指して - 』（新繊維ビジョン）は、繊維産業にとって、今後 5 年間は、最後の構造改革期間として定め、SCM体制の早期実現を求めています。そのためには、取引慣行改善が重要であると位置づけ、国としても取引慣行改善には、強い決意で挑んでいます。

そうした中、繊維産業の取引慣行が情報化の妨げになっているとの情報化実態調査結果等各種調査結果を踏まえると、繊維中小事業者の円滑な情報化推進を図るためには、繊維産業における取引慣行・条件の実態を把握することが必要です。本調査は、繊維事業者を対象にアンケートを行い、その結果をとりまとめることで、自社あるいは自社の属する業界の取引慣行・条件の問題点等の所在を明らかにし、現在の複雑、不透明な取引慣行の改善に役立てることを目的としています。

1.2 調査の概要

今年度の調査においては、従来のアンケート内容を改善し、次の点について工夫を凝らしました。最初に、回答企業が実際に取引を行っている販売先との取引慣行・取引条件を調査するとともに、その後に仕入先との取引関係を回答頂くことで、同一企業内においても立場の違いによる問題意識のずれがあることを認識するとともに、繊維産業全体に関わる取引慣行・取引条件の連鎖がイメージできるようにしました。従来は漠然と取引慣行の実態を割合で選択しておりましたが、今回は実施度合いを測る尺度として、取引問題を抱える販売先÷総販売先数を回答頂くこととしました。回答者の負担も考慮し質問項目数を減らし、かつ、実施度合いや自由回答以外は選択式としました。一方で、製品の種類等を特定することや重点的に調査する項目を設定せずに、糸加工段階から製品まで、幅広く繊維産業全体を網羅的に調査しました。

調査項目

(詳細については参考資料「基本調査票」及び「取引慣行および取引条件の実態に関するアンケート調査票」を御参照ください)

1) 回答企業の概要に関する質問

業種 資本金 従業員数 最近の繊維年商 主要取引形態
主要販売先(委託加工発注元)業種 総販売先(委託加工発注元)数
総仕入先(委託加工発注先)数

2) 販売先(委託加工の発注元)との取引に関する質問

取引契約書について

* 販売先(又は委託加工の発注元)との契約書締結の状況

* 契約書への電子商取引関連条項記載の状況

後値決め取引について

値引き取引について

決済条件関連事項について

* 現金決済の状況 * 受取手形の状況 * 受取手形サイトの状況

* 売掛期間の状況

納品関連事項について

* 引取遅延・拒否の状況 * 返品 of 状況

物流関連事項について

* 小口多頻度配送の状況 * 配送条件の状況

営業協力要請関連事項について

* 歩引の状況 * 歩積の状況 * 従業員派遣の状況 * 協賛金の状況

* 見本品負担の状況 * 押付販売の状況 * 宣伝費等負担の状況

* リベート要求の状況

3) 仕入先(又は委託加工の発注先)との取引に関する質問

口頭契約の状況 後値決めの状況 値引きの状況 長期手形の状況

長期売掛期間の状況 引取遅延・拒否の状況 返品 of 状況

小口配送要請の状況 歩引・歩積の状況 見本品負担の状況

押付販売の状況

4) 情報化が進展すれば改善され则认为られる取引慣行について

5) 質問事項以外の改善を要する取引慣行・取引条件について

6) 取引慣行改善に向けての政府等公的機関に対する期待について

調査対象業種・企業

調査票は枠内記載の各団体傘下企業合計 1,949 社に対して送付しました。

日本化学繊維協会、日本紡績協会、日本羊毛紡績会、日本撚糸工業組合連合会、日本絹人織物工業組合連合会、日本毛織物等工業組合連合会、日本綿スフ織物工業組合連合会、日本編レース工業組合連合会、日本カーペット工業組合、日本繊維染色連合会、日本染色協会、日本毛整理協会、日本毛糸商業組合、日本綿化繊糸商業組合、繊維産元地区組合、日本織物中央卸商業組合連合会、日本アパレルソーイング工業組合連合会、日本被服工業組合連合会、日本輸出縫製品工業組合連合会、日本靴下工業組合連合会、全日本婦人子供服工業組合連合会、日本タオル工業組合連合会、日本ニット工業組合連合会、日本毛布工業組合、日本アパレル産業協会、日本インテリアファブリックス協会、日本ジーンズ協会、日本タオル卸商連合会、日本ニット中央卸商業組合連合会、日本ボディファッション協会、日本寝具寝装品協会

調査経路と期間

調査票は当事業団から各企業に直接郵送（2003年12月8日発送）し、回答も各企業から当事業団に直接郵送願いました。回答の投函期限は12月26日としました。

回答数

1,949 通の発送に対し、宛先不明等で返戻されたもの、配達されたが廃業等で回答願えなかったもの等が 146 通あり、差し引き 1,803 通が有効に配達されたと考えられます。これに対し、735 通の有効な回答があり、回答率は 40.8% でした。この場を借りてご協力いただいた企業に感謝申し上げます。

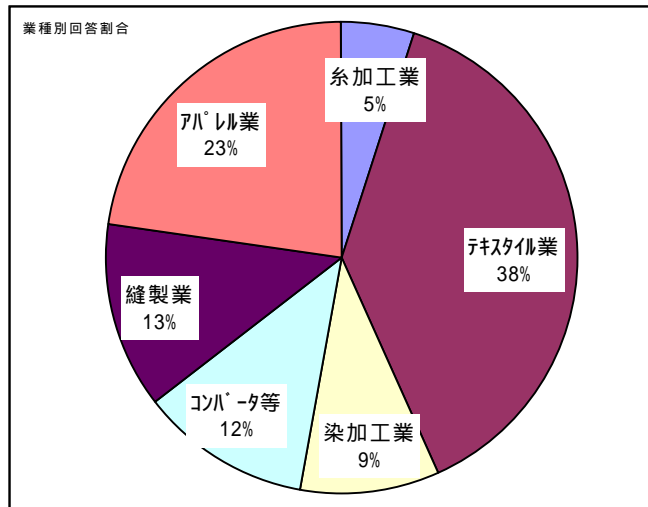
回答企業のプロフィール

回答をいただいた企業を基本調査票の業種区分に基づき集計した結果は、以下のとおりです。基本調査票では副資材業が選択肢に入っていましたが、回答数が少なかったこと、ほとんどがテープ製造業などテキスタイル業と考えてよい企業であったため、テキスタイル業に編入してあります。また、便宜上、この報告書では業種の表記を次頁「文中の表記」欄のとおり、簡略化して表記することとします。

以下、業種別、資本金規模別、従業員数別、最近の繊維年商規模別に集計しました。

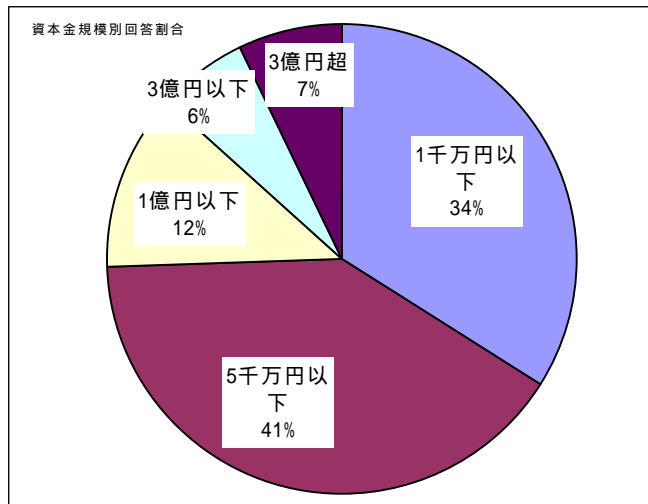
* 業種別

業種	文中の表記	送付数	回答数	コメント
糸加工業	糸加工業	84	36	化合織、紡績、撚糸を含む
テキスタイル製造業	テキスタイル業	869	283	織物、編物、副資材業を含む
染色加工業	染加工業	161	69	糸綿染め、反染め、整理含む
産元・コパクター・商社	コパクター等	311	86	糸綿商、テキスタイル商を含む
縫製業	縫製業	181	94	ニット製品を含む
アパレル業	アパレル業	343	167	製造卸を含む
計		1,949	735	



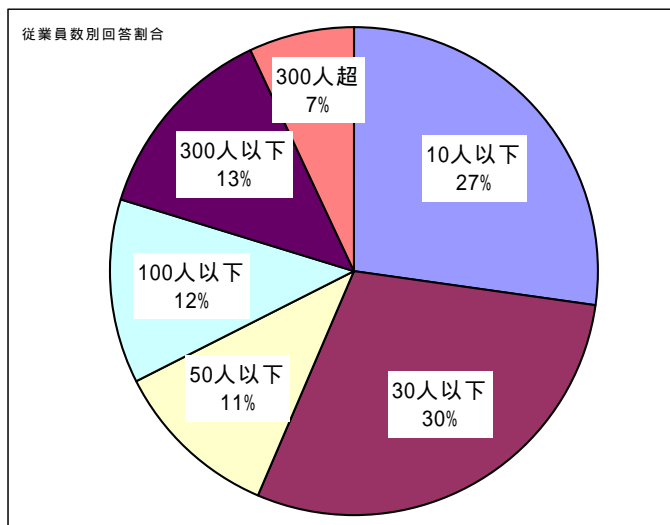
* 資本金規模別

資本金	回答数
1千万円以下	249
5千万円以下	299
1億円以下	88
3億円以下	46
3億円超	53
計	735



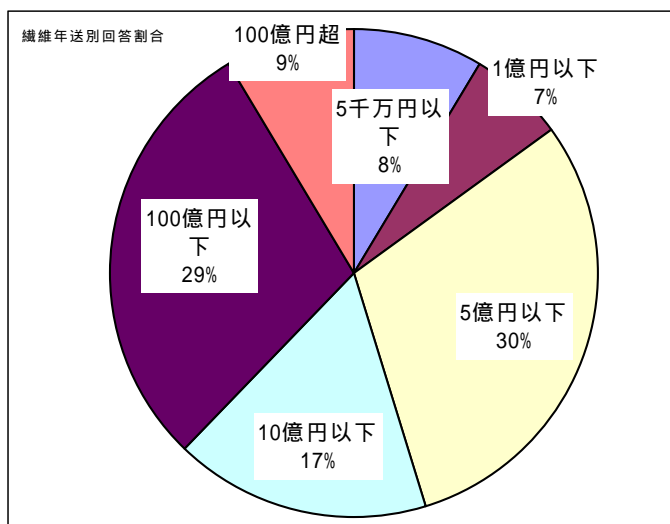
* 従業員数別

従業員数	回答数
10人以下	196
30人以下	211
50人以下	79
100人以下	88
300人以下	97
300人超	50
計	721



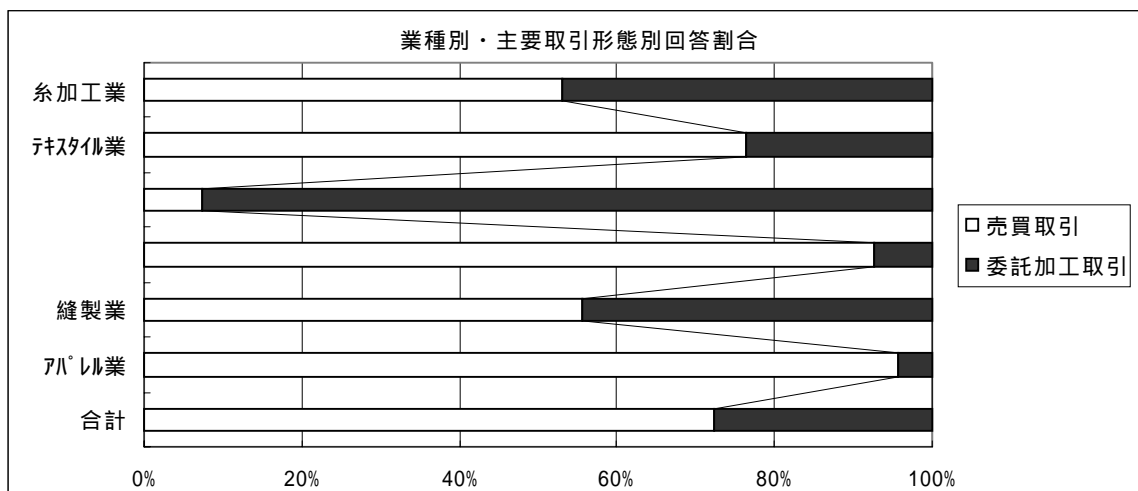
* 最近の繊維年商規模別

繊維年商規模	回答数
5千万円以下	60
1億円以下	47
5億円以下	213
10億円以下	119
100億円以下	207
100億円超	61
計	707



主要取引形態

主な取引形態が、売買取引か委託加工取引かを伺い、業種別にクロス集計した結果が下のグラフ、表です。染加工業で委託加工取引中心の企業が多く（92.8%）、糸加工業、縫製業でも委託加工取引中心の企業の割合が他の業種に比べて多くなっていました。



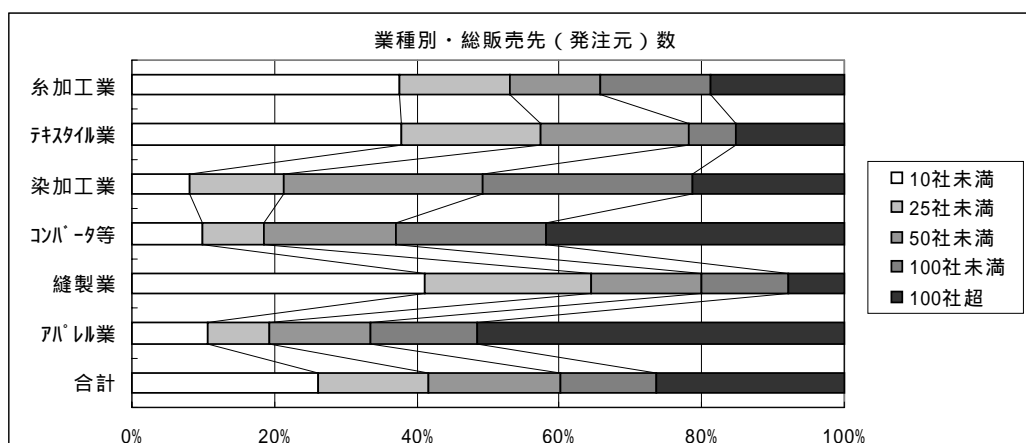
	糸加工業	テキスタイル業	染色加工業	コンバータ等	縫製業	アパレル業	合計
売買取引	53.1%	76.4%	7.2%	92.6%	55.6%	95.8%	72.4%
委託加工取引	46.9%	23.6%	92.8%	7.4%	44.4%	4.2%	27.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
回答数	32	276	69	81	90	165	713

総販売先数及び総仕入先数

今回のアンケート調査において、回答企業が実際に取引を行っている販売先企業数を調査しました。

総販売先（又は委託加工の発注元）数については、上のグラフ、表のとおり、回答全体では10社未満と100社超の割合が大きくなっていました。業種別には糸加工業、テキスタイル業、縫製業など委託加工取引を主とする企業の割合が大きな業種で10社未満の割合が大きく、アパレル業、コンバータ等で100社超の割合が大きくなっていました。

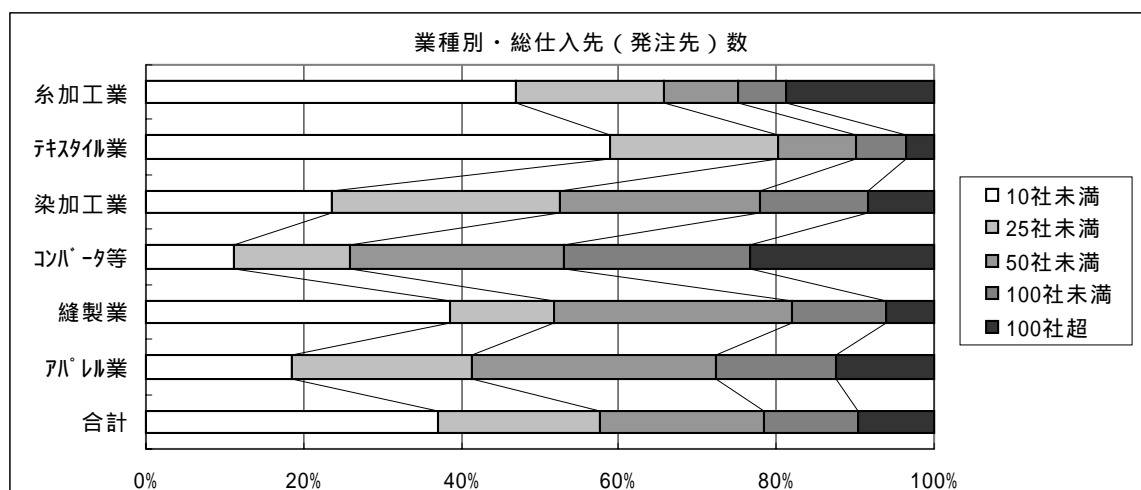
* 総販売先（又は委託加工の発注元）数



	糸加工業	テキスタイル業	染加工業	コンバータ等	縫製業	アパレル業	合計
10社未満	37.5%	37.7%	8.2%	9.9%	41.1%	10.6%	26.0%
25社未満	15.6%	19.4%	13.1%	8.6%	23.3%	8.7%	15.4%
50社未満	12.5%	20.9%	27.9%	18.5%	15.6%	14.3%	18.6%
100社未満	15.6%	6.7%	29.5%	21.0%	12.2%	14.9%	13.4%
100社超	18.8%	15.3%	21.3%	42.0%	7.8%	51.6%	26.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
回答数	32	268	61	81	90	161	693

総仕入先（又は委託加工の発注先）数については、次のグラフ及び表のとおり、回答全体では10社未満の割合がもっとも大きくなっていました。業種別には、糸加工業、テキスタイル業、縫製業など、委託加工取引を主とする企業の割合が大きな業種で10社未満の割合が特に大きくなっていました。また、コンバータ等では他業種に比べて100社超の割合が大きくなっていました。

* 総仕入先（又は委託加工の発注先）数



	糸加工業	テキスタイル業	染色加工業	コンバータ等	縫製業	アパレル業	合計
10社未満	46.9%	58.9%	23.7%	11.1%	38.6%	18.5%	37.2%
25社未満	18.8%	21.3%	28.8%	14.8%	13.3%	22.8%	20.4%
50社未満	9.4%	9.9%	25.4%	27.2%	30.1%	30.9%	20.9%
100社未満	6.3%	6.3%	13.6%	23.5%	12.0%	15.4%	11.9%
100社超	18.8%	3.6%	8.5%	23.5%	6.0%	12.3%	9.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
回答数	32	253	59	81	83	162	670